



# STAR'S REPORT

2016年2月期 中間報告書

スター精密株式会社

証券コード：7718

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに2016年2月期中間期(2015年3月1日から2015年8月31日まで)の事業の概況についてご報告申し上げます。

2015年11月



取締役社長  
佐藤 肇

### ■ 当中間期の業績について

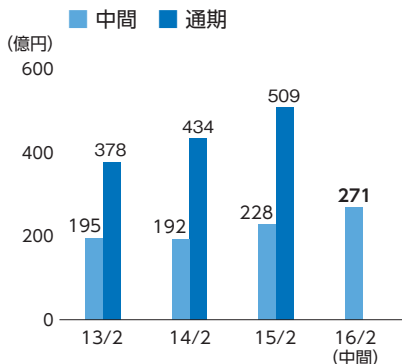
当中間期における経済情勢は、米国経済は、景気は回復基調で推移しました。欧州においては、景気は緩やかな持ち直しの動きが続きましたが、アジアにおいては、中国および東南アジアで成長テンポは鈍化傾向となりました。わが国においては、景気は足踏みする場面がありつつも緩やかな回復が続きました。

当社グループの主要関連市場におきましては、工作機械市場では、国内、海外ともに需要は好調に推移しましたが、特機事業におけるPOS関連市場では、米国および欧州ともに需要は伸び悩みました。また、精密部品に関連する市場では、時計部品および医療関連部品の需要が好調に推移しました。

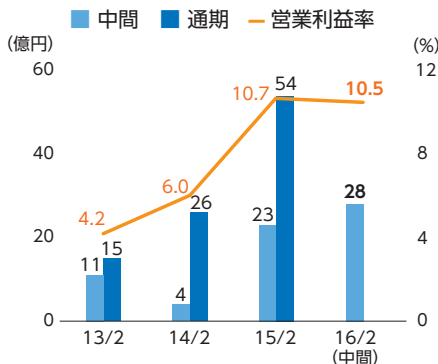
なお、当中間期における為替レートは、前年同期に比べ米ドルは円安水準で、ユーロは円高水準で推移しました。

### ▶ 連結業績ハイライト

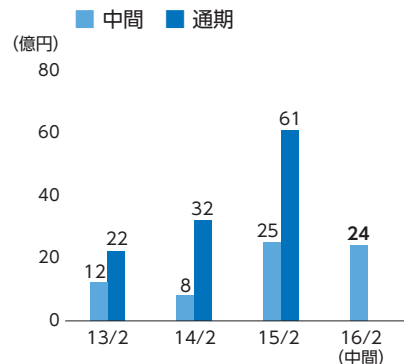
#### 売上高



#### 営業利益／営業利益率



#### 経常利益



このような状況のなか、当中間期の売上高は、工作機械を中心に販売が増加したことに加え、円安の効果もあり、前年同期比19.0%増の271億7千3百万円となりました。利益につきましては、営業利益は同23.6%増の28億5千3百万円となりましたが、経常利益は、営業外費用で5億8千万円の為替差損が発生したことなどから、同1.3%減の24億7千1百万円、四半期純利益は同12.2%減の18億5千6百万円となりました。

### ■ 事業別の状況について

特機事業については、欧州市場は、市況の回復ペースが鈍いなか、円安の効果もあり売上は増加しましたが、米国市場では販売代理店の在庫調整の影響を受けたほか、アジア市場や大口案件がなかった国内市場でも販売が伸び悩み、売上、利益ともに減少しました。

工作機械事業については、欧州市場とアジア市場で自

動車関連を中心に販売が好調に推移しました。また、米国市場で医療関連が、日本市場では自動車関連の販売が堅調だったことから、売上、利益ともに大幅に増加しました。

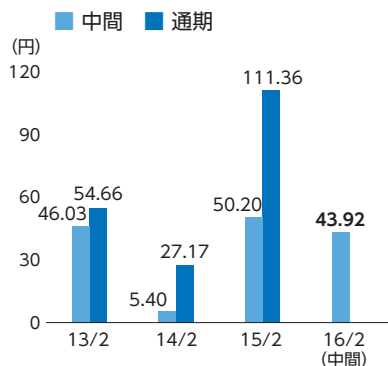
精密部品事業については、時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け売上が増加したほか、非時計部品は、円安の効果に加え、医療関連部品の販売が増加し、売上、利益ともに増加しました。

### ■ 通期の見通しについて

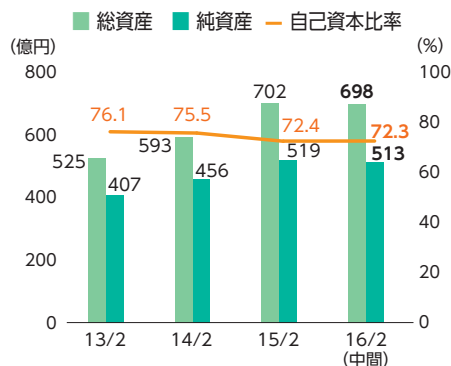
今後の世界経済については、中国経済の減速懸念などがあるものの、米国を中心に全体として緩やかな回復が続くものと予想しています。

事業別では、工作機械事業は、アジア市場での大幅な販売の増加を見込んでいます。特機事業は、米国市場での中間期までの販売代理店の在庫調整などが影響し、販売は前期並みになる見込みです。精密部品事業は、時計

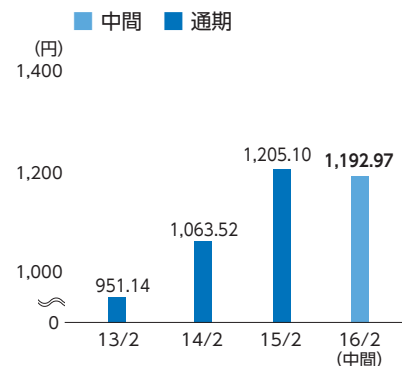
1株当たり純利益



総資産／純資産／自己資本比率

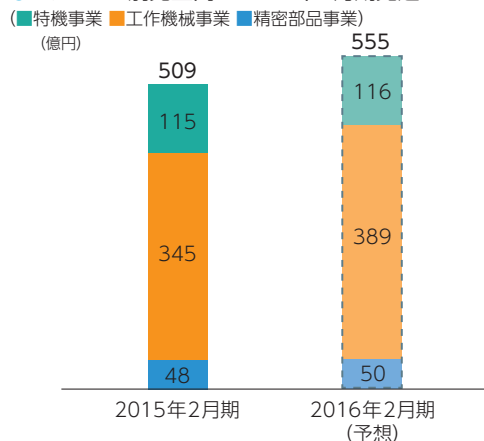


1株当たり純資産



部品の販売が増加するほか、非時計部品は前期並みの販売を見込んでいます。

## ●セグメント別売上高 2016年2月期見通し

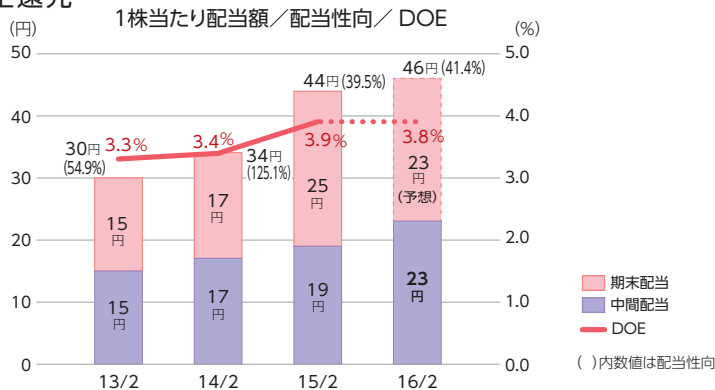


以上により、通期の連結業績については、当中間期の実績を踏まえ、売上高は前期比8.9%増の555億円、営業利益は同18.7%増の65億円、経常利益は同0.8%増の62億円、当期純利益は同0.1%増の47億円を見込んでいます。

## ■株主の皆様へ

従来より当社グループは、「単なる売上規模の拡大ではなく、グローバルでニッチな市場で収益性を重視していく」ことを基本方針とし、健全な財務体質を維持しながら、健全な事業投資を推進し、株主の皆様へ利益を還元することで当社グループの価値を株主の皆様と共有したいと考えています。グループ一丸となってさらなる業績の向上に取り組んでまいりますので、株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

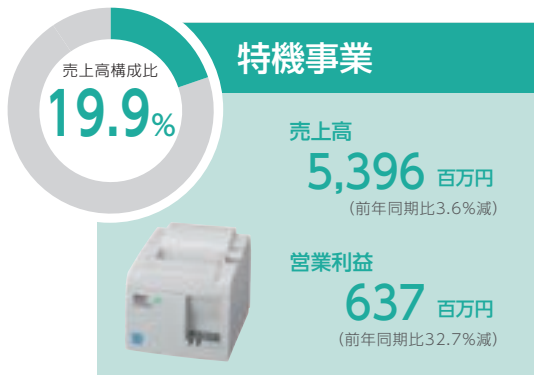
## ▶ 株主還元



株主還元については、配当性向(連結)40%以上を目標にDOE(連結株主資本配当率)を勘案しながら実施していきたいと考えています。

当期の1株当たりの中間配当は、前期の中間配当に比べ4円増配の23円とさせていただきます。また、期末配当についても同じく1株当たり23円を予定しており、中間配当とあわせた当期の年間配当予想は、前期に比べ2円増配の46円となります。

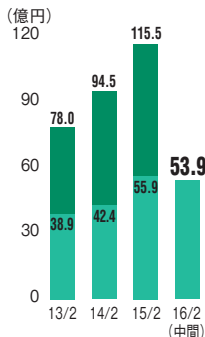
# 事業別の概況 BUSINESS SEGMENT OVERVIEW



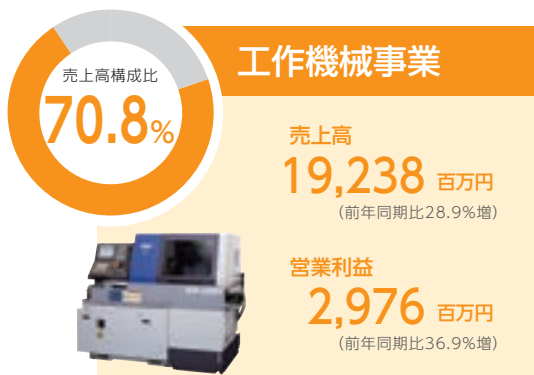
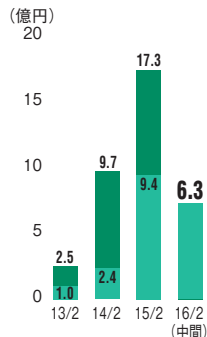
### ▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、販売代理店の在庫調整の影響を受け売上は減少
- 欧州市場は、市況の回復ペースが鈍かったものの、円安の効果もあり売上は増加
- アジア市場は、中国での販売が伸び悩んだことから売上は減少
- 国内市場は、大口案件の販売がなかったことなどにより売上は減少

### 売上高 (■中間 ■通期)



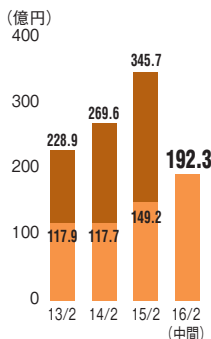
### 営業利益 (■中間 ■通期)



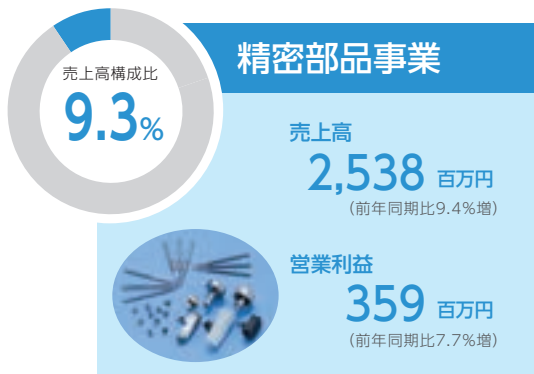
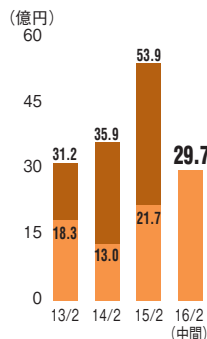
### ▶ 当中間期のポイント

- 米国市場は、医療関連の販売が堅調に推移し、売上は大幅に増加
- 欧州市場は、自動車関連などの販売好調により売上は増加
- アジア市場は、東アジアを中心とした自動車関連の販売好調により売上は大幅に増加
- 国内市場は、自動車関連を中心に市況は堅調に推移し、売上は前年同期並み

### 売上高 (■中間 ■通期)



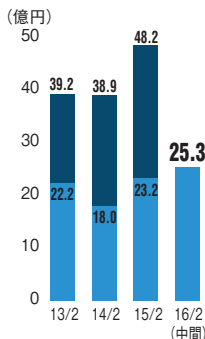
### 営業利益 (■中間 ■通期)



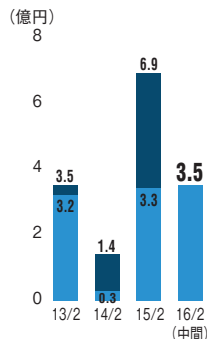
### ▶ 当中間期のポイント

- 時計部品は、腕時計メーカーの販売好調を受け売上は増加
- 非時計部品は、円安の効果に加え、医療関連部品の販売が好調に推移したため、売上は増加

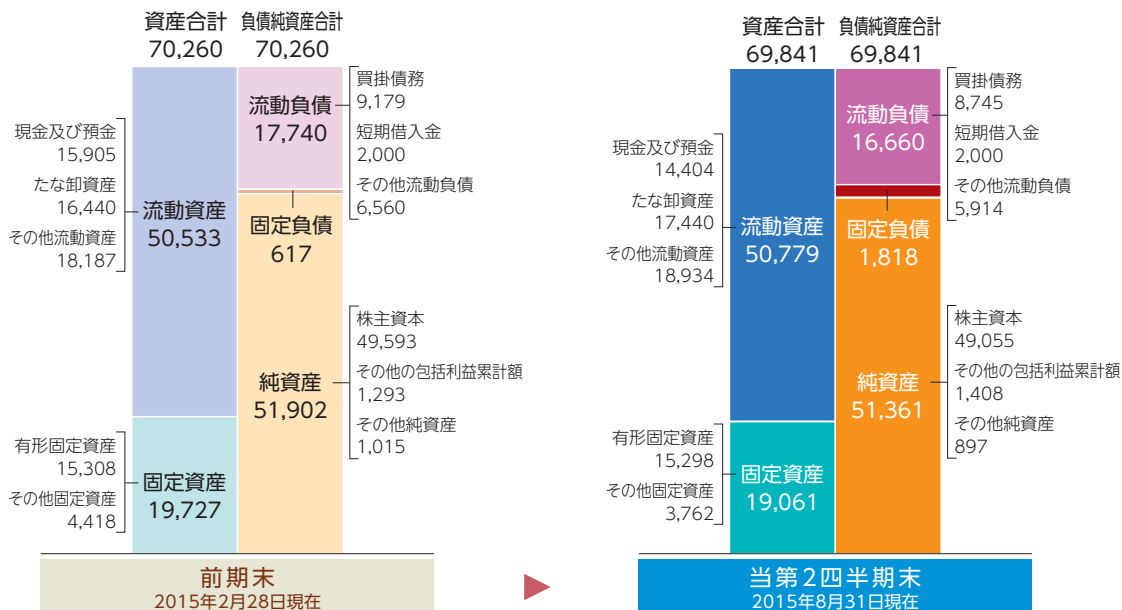
### 売上高 (■中間 ■通期)



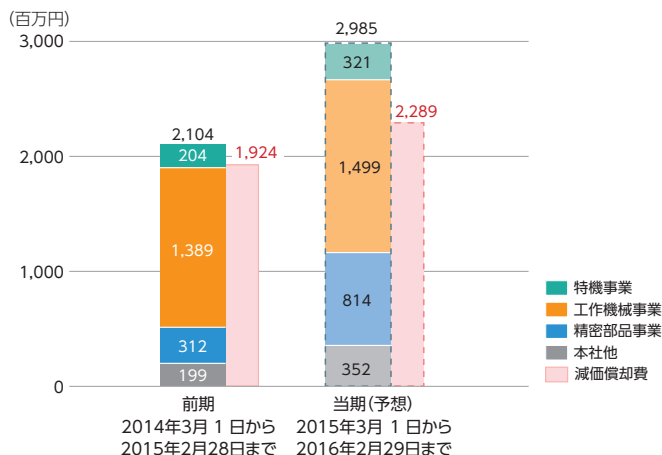
### 営業利益 (■中間 ■通期)



## ▶ 四半期連結貸借対照表の概要 単位：百万円



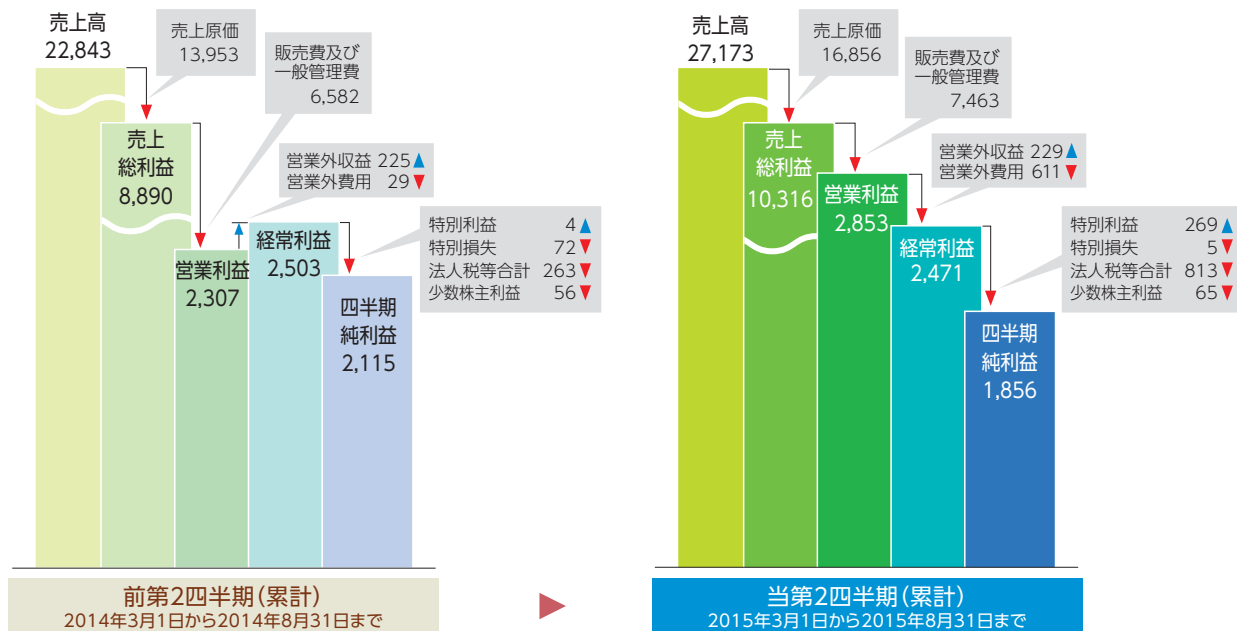
## ▶ 設備投資



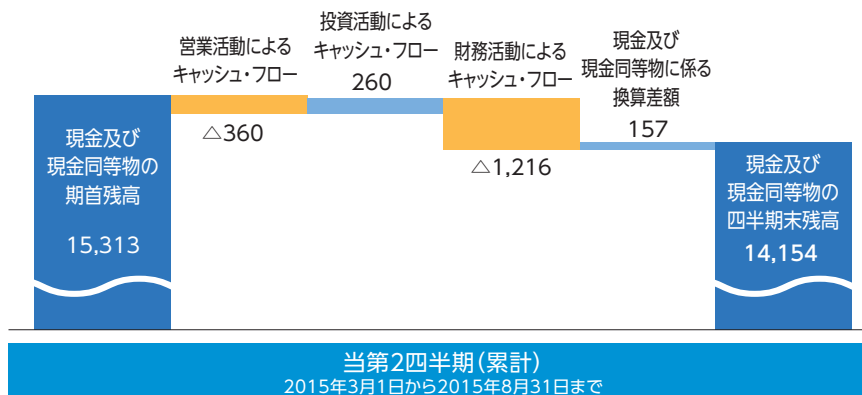
## 主な設備投資実績および予定

事業	内訳
特機事業	新製品用の金型等
工作機械事業	合理化、維持更新用の生産設備等
精密部品事業	国内工場の拡張および生産設備の増設
本社他	情報システム関連等

▶ 四半期連結損益計算書の概要 単位:百万円



▶ 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 単位:百万円



News

## mPOS 関連の新製品&新サービスを発表

mPOS(モバイルPOS)は、タブレット端末やスマートフォンを利用したPOSシステムで、近年需要が拡大しています。当社はいち早くmPOS向けのプリンターを手掛け、高い市場シェアを得ています。さらなるシェア拡大を目指し、mPOS関連の製品やサービスを次々に発表しました。

### ◆電子レシートサービス「AllReceipts」

2015年6月、当社プリンターを利用する店舗に対し無償で提供する電子レシートサービス「AllReceipts(オールレシート)」を開始しました。

本サービスでは、当社プリンターで印刷されるレシートデータと全く同じデータがクラウド上に保管され、買い物客はスマートフォン専用のアプリケーションを利用して簡単にレシートやクーポンを参照することができます。店舗側では管理画面から日々のレシート発券枚数を確認できるほか、買い物客の満足度を把握できます。



### ◆モバイルプリンター「SM-L200」、「SM-S230i」



2015年7月販売開始  
SM-L200



2015年7月販売開始  
SM-S230i

「SM-L200」は、業界で初のBluetooth4.0通信や5V充電の新機能を搭載しています。従来のように専用充電器を必要とせず、スマートフォン用の充電器やパソコンなどから充電することが可能なほか、コストパフォーマンスにも優れています。

「SM-S230i」は、国内で好評を得ている「SM-S210i」の海外向けモデルで、コンパクト性、軽量性、高いデザイン性を継承したほか、USB通信をサポートするなど性能も強化しています。



## ◆キャッシュドロアー&プリンター「mPOP」

2015年9月、キャッシュドロアー（金銭収納・引き出し機器）とプリンターが一体となった新製品「mPOP（エムポップ）」の販売を開始しました。タブレット端末等を利用するスタイリッシュなmPOS環境に合わせたデザインに加え、従来機に比べ3分の2\*のコンパクトなサイズです。また、USBポートを利用してタブレット端末の充電ができるほか、印刷した用紙の丸まりを防ぐデカール機能を搭載するなど機能面も充実しています。

※当社従来機のキャッシュドロアーと3インチプリンターを組み合わせた大きさと比較。



mPOPバーコードリーダー付きモデル

News

## スイス型CNC自動旋盤「SB-12R type G」を発売



2015年4月、スイス型CNC自動旋盤SBシリーズの新製品として自動車・情報通信機器・医療分野をターゲットに、最大加工径 $\phi$ 13mmの小径加工モデル「SB-12R type G」の販売を開始しました。

この新製品は、部品の全長寸法に応じてガイドブッシュとノンガイドブッシュの切り替えによる最適な仕様での加工が可能です。モーターシャフトなど全長寸法が長い部品は、ガイドブッシュ仕様によって加工物のたわみを抑制し高精度に加工し、ナットなど短い部品は、ノンガイドブッシュ仕様によって廃材を短くすることで材料コストを削減できます。また、独自のスラント型すべり案内面構造を採用し、刃物台剛性を高めることで安定した精度での連続加工を可能にしました。

News

米国・特機事業販売子会社の事務所移転

2015年4月、スターマイクロニクスアメリカ・INC はニュージャージー州にある事務所を倉庫スペースの効率化を図ることなどを目的に、同州内の新たな場所へ移転しました。



国内拠点

事業所

本社  
品質技術センター

■特機事業部

庵原工場  
東京営業所

■機械事業部

菊川工場  
東京営業所  
大阪営業所  
名古屋営業所  
諏訪営業所

■精密部品事業部

富士見工場

国内子会社

(株)ミクロ札幌  
スターメタル(株)

海外拠点

北米

スターマイクロニクス  
アメリカ・INC(米国)

スター CNC  
マシンツールCorp.(米国)

スターアメリカ  
ホールディング・INC(米国)

スタークラウド  
サービス・INC(米国)

欧州

スターマイクロニクス  
ヨーロッパ・LTD(英国)

スターマイクロニクス  
GB・LTD(英国)

スターマイクロニクス・  
GmbH(ドイツ)

スターマイクロニクス・  
AG(スイス)

スターマシンツール  
フランス・SAS(フランス)

アジア

斯大精密(大連)有限公司(中国)

上海星栄精機有限公司(中国)

上海星昂機械有限公司(中国)

天星精密有限公司(香港)

スターマイクロニクス(タイランド)  
Co., LTD(タイ)

スターマイクロニクス プレシジョン  
(タイランド)Co., LTD(タイ)

スターマイクロニクス サウスイースト  
アジアCo., LTD(タイ)

スターマイクロニクス  
マニュファクチュアリング  
(タイランド)Co., LTD(タイ)

## ▶ 会社概要

設立	1950年7月6日
資本金	127億2千1百万円
従業員数	562名
	(注) 契約社員等の当中間期の平均雇用人員52名を除いております。
営業品目	1.特機(小型プリンター、カードリーダーライター) 2.工作機械(CNC自動旋盤等工作機械) 3.精密部品(腕時計部品、自動車用・空調機器用・HDD用・医療用等部品)

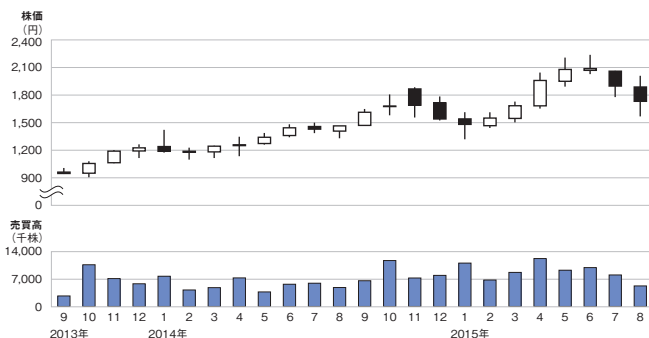
## ▶ 役員

代表取締役社長	佐藤 肇	常勤監査役(社外)	堀池 英伸
常務取締役	田中 博	監査役(社外)	洞江 秀
常務取締役	佐藤 衛	監査役(社外)	杉本 基
取締役執行役員	村上 淳一	執行役員	西沢 良和
取締役執行役員	青木 隆之	執行役員	山梨 正人
取締役執行役員	杉浦 啓之	執行役員	笹井 康直
取締役(社外)	岩崎 清悟		

## ▶ 株式状況

発行可能株式総数	158,000,000株
発行済株式総数	47,033,234株
株主数	9,072名

## ▶ 株価および株式売買高の推移 (東京証券取引所)

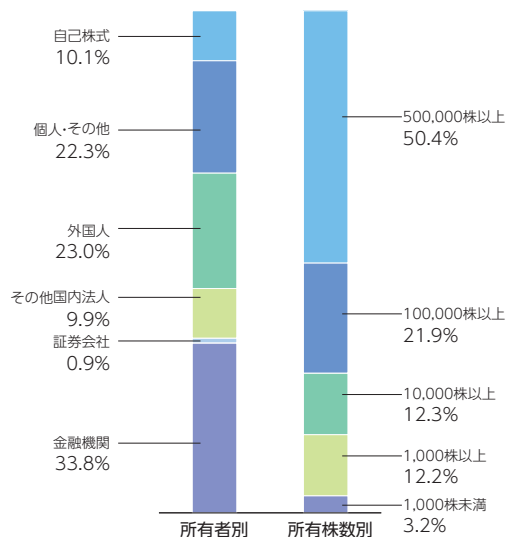


## ▶ 大株主(上位10名)

	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	4,125	9.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	3,620	8.6
シチズンホールディングス株式会社	2,058	4.9
株式会社静岡銀行	1,582	3.7
株式会社みずほ銀行	1,348	3.2
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223	1,042	2.5
リズム時計工業株式会社	1,006	2.4
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー	989	2.3
ザ バンク オブ ニューヨーク 133522	724	1.7
鈴木 通	698	1.7

(注1) 当社は、自己株式4,731千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。  
(注2) 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## ▶ 所有者別・所有株数別分布状況



# 株主メモ SHAREHOLDERS INFORMATION

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月
剰余金の配当の基準日	期末配当 2月末日 中間配当 8月31日
定時株主総会の基準日	毎年2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京証券代行株式会社
同連絡先	東京証券代行株式会社 事務センター 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 電話 0120-49-7009 (通話料無料)
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。 公告掲載URL ( <a href="http://www.star-m.jp">http://www.star-m.jp</a> )
単元株式数	100 株

## ● ホームページのご案内

当社のホームページでは、会社情報、IR情報や新製品に関するお知らせなどさまざまな最新情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

<http://www.star-m.jp>



## 株式に関するお手続きについて

お手続き内容	お問合せ窓口	
	証券会社に口座をお持ちの株主様	証券会社に口座をお持ちでない株主様
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 住所・氏名等のご変更</li> <li>● 単元未満株式の買取および買増請求</li> <li>● 配当金の受領方法のご変更</li> </ul>	<p><b>口座をお持ちの証券会社</b></p>	<p><b>特別口座の口座管理機関</b> <b>東京証券代行株式会社</b> 東京都千代田区大手町二丁目6番2号(日本ビル4階) (注1) 三井住友信託銀行株式会社全国本支店(コンサルティングオフィス・コンサルプラザ・i-Stationを除く)においてもお取次しております。 (注2) 2016年1月12日をもってつぎのとおり移転いたします。 なお、郵便物送付先・連絡先につきましては、変更ございません。 <b>移転先の所在地</b> 東京都千代田区神田錦町三丁目11番地 (神田錦町三丁目ビルディング6F)</p> <p><b>《郵便物送付先・連絡先》</b> 〒168-8522 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 東京証券代行株式会社 事務センター 電話 0120-49-7009 (通話料無料)</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 未受領の配当金に関するお問合せ</li> <li>● 郵便物についてのお問合せ・再送付のご依頼</li> <li>● 株式事務に関する一般的なお問合せ</li> </ul>	<p>すべての株主様</p> <p><b>株主名簿管理人</b> <b>三菱UFJ信託銀行株式会社</b> 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行 本支店でお支払いいたします。 <b>《連絡先》</b> 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 電話 0120-232-711 (通話料無料)</p>	

## スター精密株式会社

〒422-8654 静岡県静岡市駿河区中吉田20-10  
TEL.054-263-1111 FAX.054-263-1057



見やすいユニバーサル  
デザインフォントを採用  
しています。

